

JAXAタウンミーティングとは？



- ・ 地域の皆さまと直接お話をしながら日本の宇宙航空開発について考える「意見交換会」です。
- ・ 講演やシンポジウムとは異なり、出席されている方のお一人お一人がご意見を自由に述べていただけます。
- ・ それに対してJAXAからも意見を出していくことになります。



このような意見のやりとりの積み重ねによって、将来の宇宙開発や宇宙科学研究、航空技術開発につながるアイデア、方針策定に役立てます。

ご意見・ご提案、一緒に大いに語りましょう。

JAXAの概要

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構



1. 発足

平成15年10月、文部科学省傘下の3機関
(宇宙科学研究所、航空宇宙技術研究所
及び宇宙開発事業団)が統合して発足

2. 規模

職員数 1, 525名

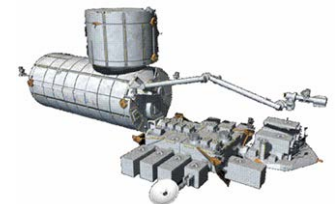
(平成27年4月1日現在)

予算額 1, 541億円

(平成27年度当初予算)

3. 事業所等 所在地

調布(本社)、御茶ノ水(東京事務所)、
筑波、相模原、種子島、内之浦、角田 他

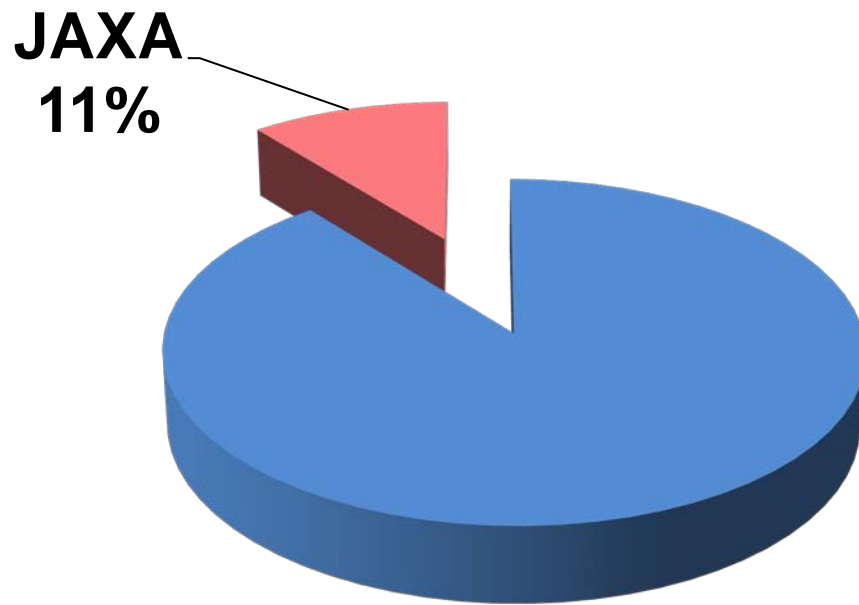
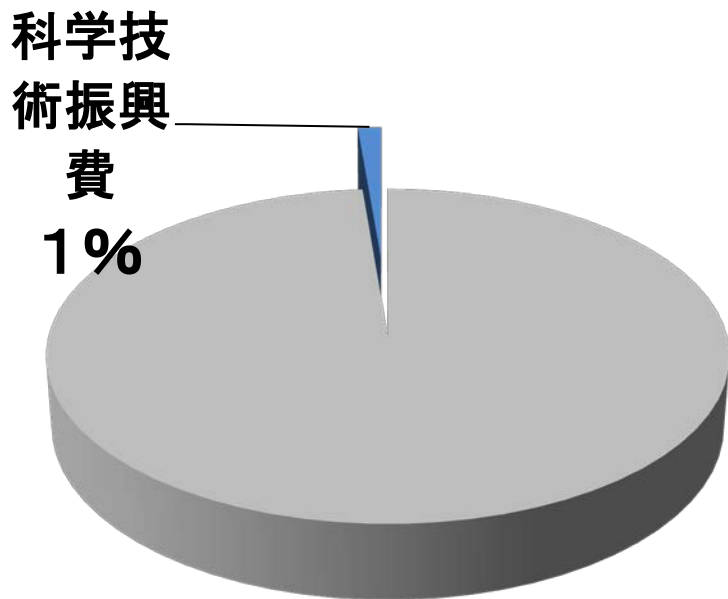


国家予算におけるJAXA予算の割合



国家予算に占める
科学技術振興費
(平成27年度予算)

科学技術振興費に占める
JAXA予算
(平成27年度予算)



米国、欧州との宇宙機関予算規模比較

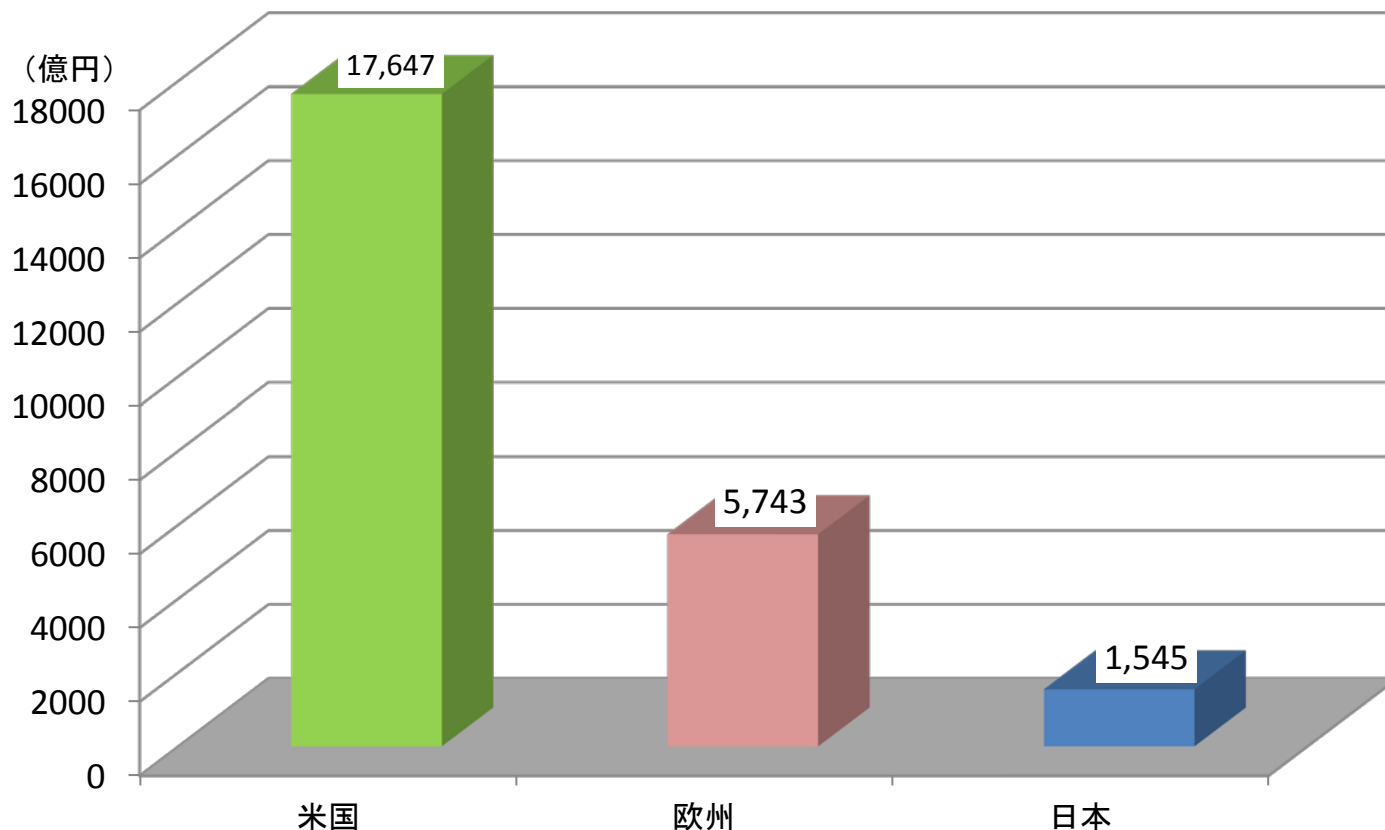


現状のJAXA予算規模はNASAの約1割、ESAの約3割

- 米国航空宇宙局 (NASA)
- 欧州宇宙機関 (ESA)
- 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

2014年度ベースでの比較

1米ドル=100円、1ユーロ=140円で換算



インターネット等からの寄附金の募集と使途



平成24年4月から、宇宙航空研究開発を応援して下さるお気持ちを広く受け入れるため、寄附金制度を拡充してインターネット等から簡易に実施できる寄附金の募集を開始しました。



◆現在募集中の寄附金

- ・「はやぶさ2」 ・最先端の宇宙科学研究
- ・「きぼう」日本実験棟の利用
- ・静かな旅客機を実現するフクロウ(FQUROH)プロジェクト
- ・地球の未来をリードする技術研究(宇宙エネルギー利用システム、デブリ)
- ・イプシロンロケット など

◆寄附金総額 平成28年1月末現在で
68,078,201 円

◆「はやぶさ2」に対するご寄附は、「はやぶさ2」ミッションのより確実な実施のために追加搭載した小型モニタカメラ製作費等に充てさせていただきました。

URL http://www.jaxa.jp/about/donations/index_j.html



お問合せ先

JAXA寄附金担当 050-3362-6700
(受付時間 9:30~12:15、13:00~17:45)



平成27年度の大きなイベント



油井亀美也宇宙飛行士、7月23日(打ち上げ)から12月11日まで国際宇宙ステーションに長期滞在。

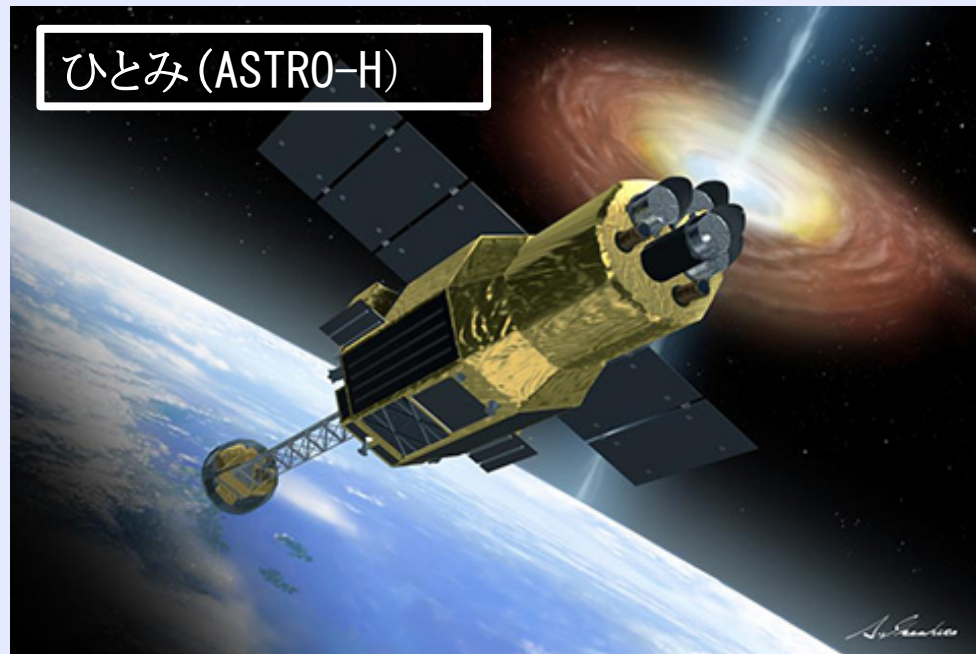
このとり5号機を8月19日に打ち上げ。

平成27年度の大きなイベント

はやぶさ2

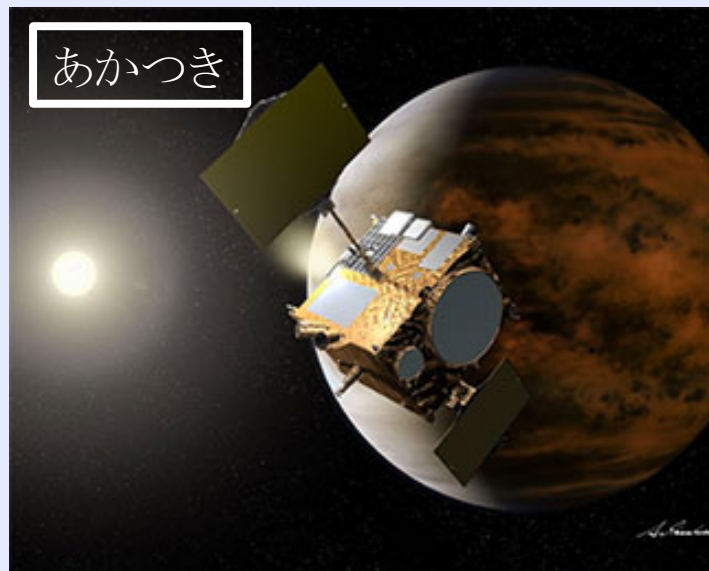


ひとみ (ASTRO-H)



(画像提供:池下章裕)

あかつき



はやぶさ2地球スイングバイを12月3日に実施。
あかつきの金星周回軌道への投入を12月7日に実施。

X線天文衛星「ひとみ」(ASTRO-H)を2016年2月17日に打ち上げ。

平成27年度の大きなイベント



D-SEND#2超音速試験機

ソニックブーム低減のための実証実験を7月に実施。

平成27年度のロケット開発



基幹ロケット高度化



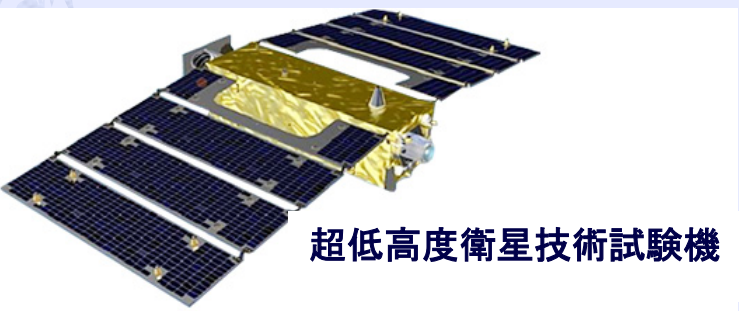
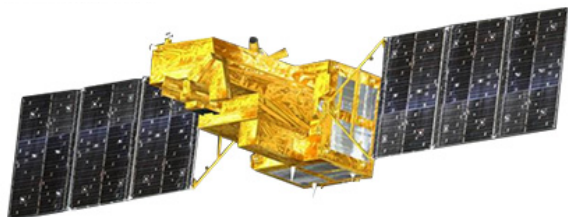
H3ロケット



強化型
イプシロン
ロケット

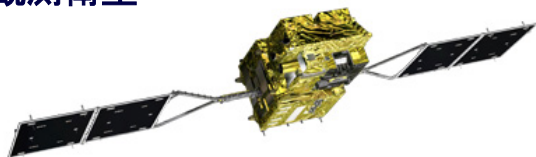
平成27年度の人工衛星開発

温室効果ガス観測衛星2号

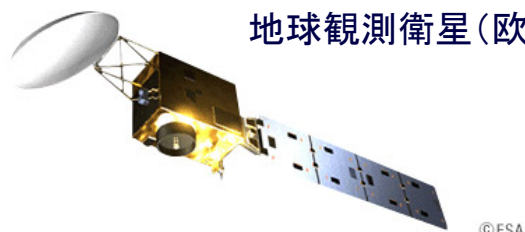


超低高度衛星技術試験機

気候変動観測衛星

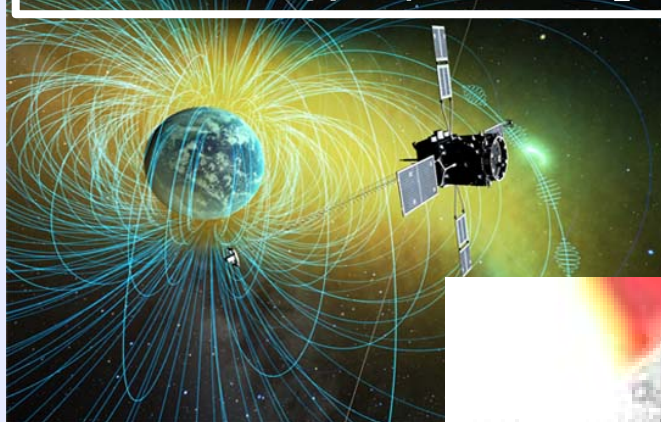


EarthCARE/CPR
地球観測衛星(欧州と共同)



© ESA

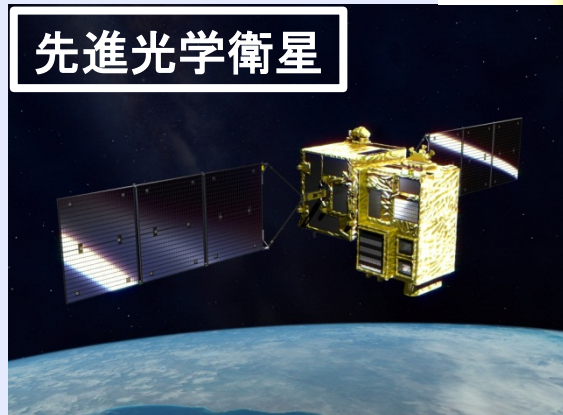
ジオスペース探査衛星「ERG」



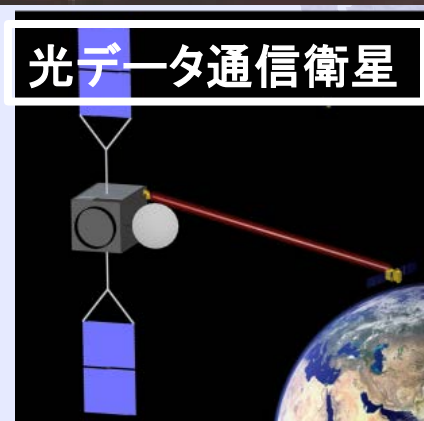
水星探査ミッション
BepiColombo



先進光学衛星



光データ通信衛星



<2003年10月>
JAXA発足

<2013年10月>
JAXA10周年

新生JAXAが
目指すもの

<Phase>
技術の実証

<Phase>
技術による課題解決

失敗・
教訓

技術基盤
の獲得

“強み”の伸長

技術の
発展・先導

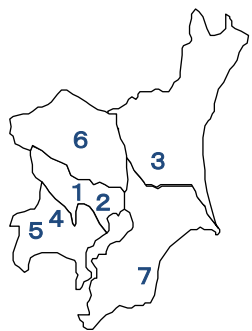
社会への
価値提供

皆さまのご意見をお聞かせください

- 日本は宇宙探査にどのように取り組むべきと思いますか？
- どんな人工衛星が必要だと思いますか？
- どんな航空機の技術開発が必要だと思いますか？

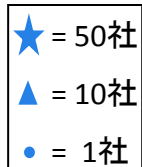
宇宙機器産業強化に向けた連携事業 ～宇宙産業との連携深化～

主な宇宙関連企業 事業所の所在地

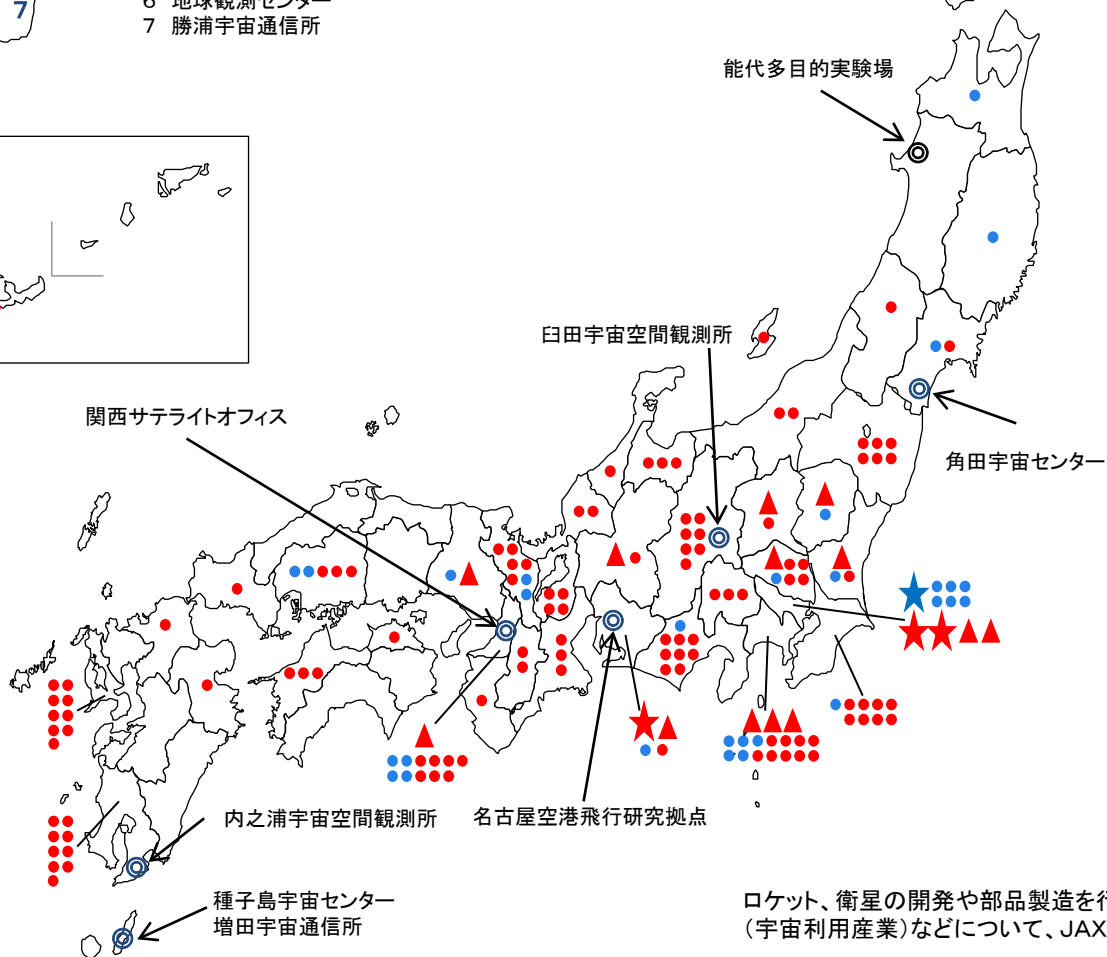
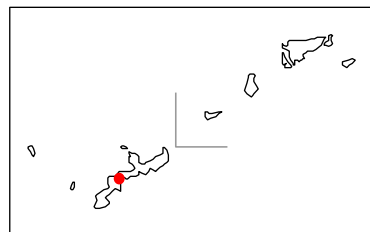


- 1 本社 調布航空宇宙センター
- 2 東京事務所、大手町分室
- 3 筑波宇宙センター
- 4 相模原キャンパス
- 5 あきる野実験施設
- 6 地球観測センター
- 7 勝浦宇宙通信所

宇宙利用産業
事業所数



宇宙機器産業
事業所数



都道府県別宇宙関連事業所 総数

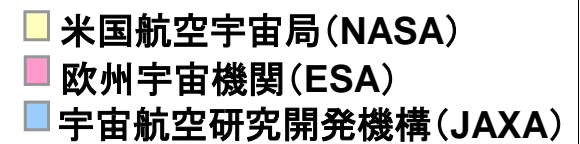
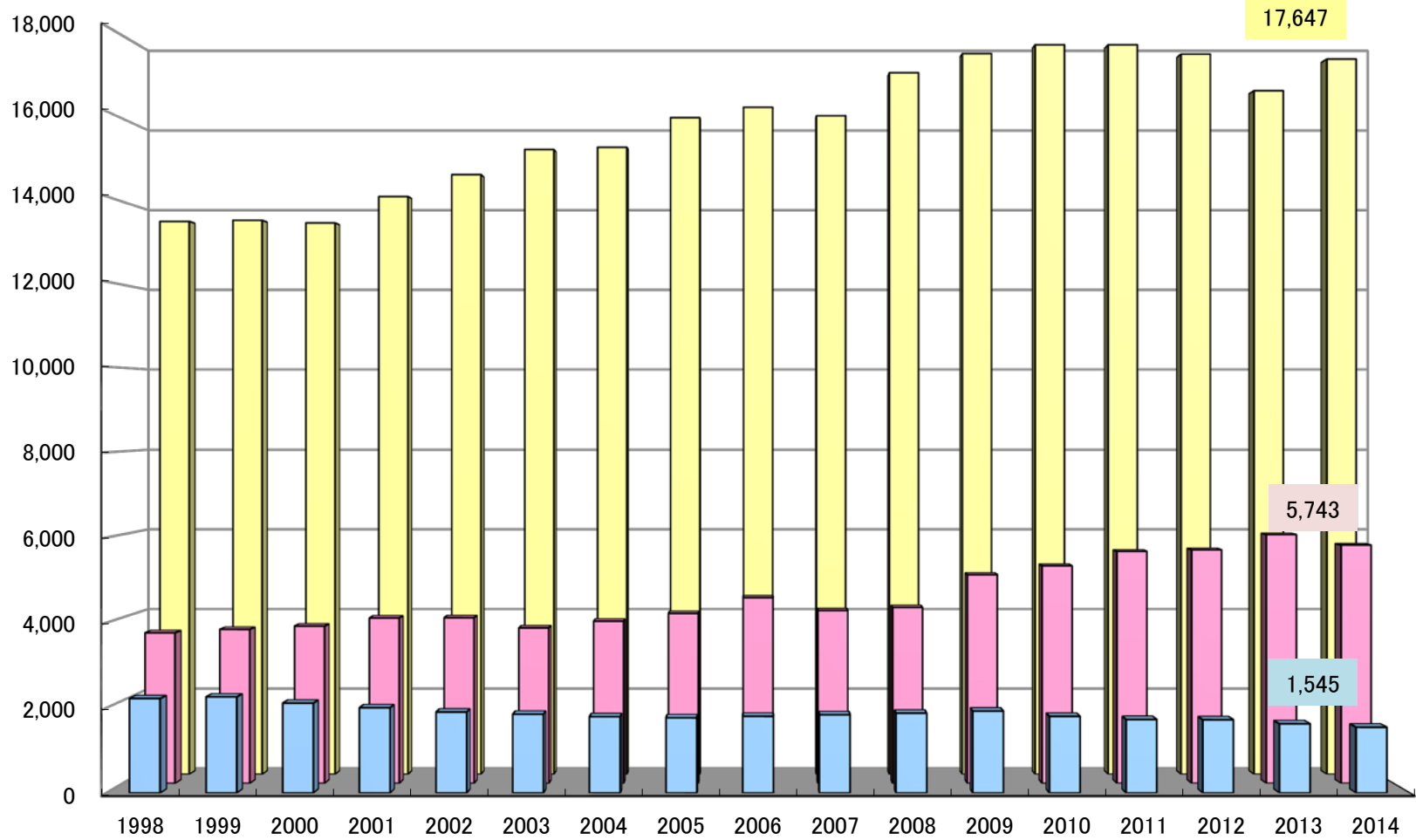
北海道	5	大阪府	21
青森県	1	兵庫県	11
岩手県	1	京都府	7
宮城県	2	滋賀県	4
秋田県	0	奈良県	2
山形県	1	和歌山県	1
福島県	6	鳥取県	0
東京都	176	島根県	0
神奈川県	44	岡山県	0
埼玉県	15	広島県	5
千葉県	9	山口県	1
茨城県	12	徳島県	0
栃木県	11	香川県	1
群馬県	11	愛媛県	3
山梨県	3	高知県	0
新潟県	3	福岡県	1
長野県	7	佐賀県	0
静岡県	9	長崎県	9
富山県	3	熊本県	0
石川県	1	大分県	1
福井県	2	宮崎県	0
愛知県	62	鹿児島県	9
岐阜県	11	沖縄県	1
三重県	3	合計	475

ロケット、衛星の開発や部品製造を行った企業(宇宙機器産業)と、宇宙を利用する企業(宇宙利用産業)などについて、JAXA産業連携センターが調査しまとめた。(2012年3月現在)

米国、欧州との宇宙機関予算規模比較

現状のJAXA予算規模は、NASAの約1割、ESAの約3割

(億円)



1米ドル=100円、1ユーロ=140円で換算